

業務名	蔵を活かしたまちづくり(福島県喜多方市)
発注機関名	福島県喜多方市商工観光課 / 福島県喜多方建設事務所 / 喜多方蔵の会 / 会津北方小田付郷町衆会 / 文化庁 / (財)日本ナショナルトラスト
実施時期	2001年3月～
業務の概要	<p>現在、喜多方市内には蔵が推定 2,600 棟あるといわれているが、それらの魅力を活かさきれていない。そこで、まずは実態の調査を行い、その調査結果に基づいて、まちづくりのプランを作成した。</p> <p>プランとしては蔵という資源を活かし、観光と生活が融合した空間を形成し、喜多方ならではの「喜多方ツーリズム」の実現すること、そのプロセスなどを計画した。</p> <p>また、各地区や喜多方全体のまちづくり団体の設立・運営支援(アドバイス)、小学生や市民と協働による蔵の全域調査(進行中)、まちづくりの拠点となる蔵を活用した「まちづくり寄り合い所」の開設、駅前や中心市街地の景観形成・活性化のプラン作成やアドバイス、まちづくりイベントの企画提案・運営支援など、総合的なまちづくり支援を行ってきている。</p>
技術的特徴	<p>資源調査・まちづくりプラン作成(インタビュー等を通じた蔵主・蔵の会との関係づくり)</p> <p>フォーラム開催(まちづくり活動や魅力的な資源の市民に対する周知)</p> <p>蔵マップづくり(蔵主との輪を広げる、各地区のまちづくり団体との関係づくり、魅力の情報発信)</p> <p>まちづくりイベント・まちを語る集い(地元の人々のまちづくりの実践)</p> <p>第2回フォーラム(地元の人々による今後のまちづくりについての公開議論により、市民主導による蔵調査の実施決定)</p> <p>小学校の総合的学習の中での蔵調査の実施(学校・先生や職人、蔵主との企画調整)</p> <p>小田付地区のプラン作成(町衆会のサポート)</p> <p>「まちづくり寄り合い所」の開設(空き蔵を活用したまちづくりの活動拠点の開設の企画・調整と地元による自立運営への方向付け)</p> <p>東北まちづくり学会(東北地方全域のまちづくりネットワークの形成)</p> <p>駅前地区や中心市街地の景観形成(地区の景観形成に対するアドバイス・サポート)</p> <p>喜多方全体構想の作成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>(写真 左:空蔵を活用したまちづくり寄り合い所。 右:中の様子)</p>

(片岡・關参加の自主プロジェクト)